池田町 ダイスキ！

CS だより

令和６年７月23日
池田小学校学校運営協議会
学び＆育ちをサポート No.2

夏休み直前！ 学校運営協議会おすすめ本特集！！

学校運営協議会では、「家族が本を開くこと」につながるお手伝いとして、CS 委員や部会員からおすすめの本をいただきました。

いよいよ夏休みに入ります。夏休みはまとまった時間があり、じっくりと読書するにはいい機会です。ぜひ、子どもたちのお気に入りの一冊を探してみてはいかがでしょうか。

☆CS 委員おすすめ本☆

【大千世界の生き物たち】

動物図鑑には載っていない生き物たちがたくさん紹介されています。ちょっと怖かったりユーモラスだったりする不思議な生き物たちに出会うには、目を凝らし耳を澄ませ心を使ってこの大千世界を眺めてみる事が必要です。

（長井）

【森のいのち】

１年生の森林学習に協力してきました。身近な所にすてきな森があることに幸せを感じます。家族で森林浴を楽しむのもいいですよ。森に行けないお父さんお母さんもぜひこの本でこども達の楽しんだ森を共有してみて下さい。

（川口）

【だれでも知っているあの有名なももたろう】

ももから生まれたももたろうのお話は、みなさんよく知っていると思います。

でも、あまりみなさんに知られていないすくすく育っていくももたろうにかかわったたくさんの人たち、そして、鬼たいじに出かけたももたろうのその後のお話など、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

（吉田）

裏面へ続く……

☆CS 委員おすすめ本（続き）☆

【きっとどこかに】

ひとりぼっちの子犬には帰る場所がありません。自分のものといえるのは首に巻いた赤いスカーフだけ。希望をなくさず前に進めば誰かが見ていてくれる。未来を信じて居場所を探し続ける切なくあたたかい物語です。

（宮越）

【自宅で湿地帯ビオトープ！】

ビオトープとは、生き物のすみかのこと。人工の池も森も川も海岸もビオトープ。コンテナ１つあれば「生き物がたくさん生息する豊かな水辺」があなたのお庭で実現します。今年は庭にビオトープ。ビオトープ仲間、募集中！

（福家）

☆CS 部会員おすすめ本☆

【だいじょうぶだよ － ぼくのおばあちゃん －】

この先、65 歳以上の５人に１人が「にんちしょう」という病気にかかってしまうかもしれないといわれています。長い間研究してその病気に「にんちしょう」と名前をつけた長谷川先生。亡くなる数年前には、先生も「にんちしょう」になってしまいました。過去に池田町に来て「にんちしょう」のお話しを皆さんにしてくれた先生が、こどもたちにも病気を理解できるように、絵本を残してくれました。ぜひ一度読んで見て下さい！

（佐藤）

【あおいアヒル】

青い池でアヒルとワニの赤ちゃんが出会います。ママのいないワニの赤ちゃんをアヒルは大事に育てます。けれどいつの頃からかアヒルはいろんな事を忘れるようになり、自分の足で歩けなくなりました。ワニはママが大好きなので、こんどはぼくがママを守るからといいます。（杉浦）